

障がい児・者の運動・スポーツ実施状況調査

調査結果(概要版)



岐阜県

令和5年8月



1. 概要

(1)調査目的

岐阜県における障がい児・者の運動・スポーツ(以下「スポーツ」という。)の実施状況を把握し、今後のパラスポーツ振興施策を立案する際の基礎資料とする。

※ 運動・スポーツ：運動を伴う屋内又は屋外の活動で、トレーニングやリハビリ等として身体の一部を意図的に動かす活動を含む。

(2)調査方法

無記名式のインターネットアンケート

(3)調査対象

県内に居住する7歳以上の障がい児・者（659人）

〔性別〕 男性:356人 女性: 286人 未回答: 17人

〔年代別〕 10代以下: 76人 20～30代: 123人 40～50代: 221人 60～70代: 167人 80代以上: 72人

〔圏域別〕 岐阜圏域: 305人 西濃圏域: 116人 中濃圏域: 111人 東濃圏域: 111人 飛騨圏域: 16人

〔障がい〕 重度151人 軽度207人 手帳なし301人 ※複数回答

(4)調査項目数

30項目（障がい児・者の属性に関するもの8項目、スポーツに関するもの22項目）

(5)調査期間

令和5年6月30日(金)～7月4日(火)

2. 主な調査結果

1 過去1年間にスポーツを実施した人は52.2%、「スポーツ実施率」は34.0%

- ・過去1年間にスポーツを「実施した」は52.2%、スポーツを「実施していない」は47.8%であった。週1日以上スポーツを実施した人の割合(以下、「スポーツ実施率」という。)は34.0%であった。「19歳以下」のスポーツ実施率は48.7%、「20歳以上」のスポーツ実施率は32.1%であった。

2 実施したスポーツ、今後実施したいスポーツは「ウォーキング・散歩・ジョギング」が最多

- ・実施したスポーツは、「ウォーキング・散歩・ジョギング」(65.7%)が最も多かった。また、今後実施したいスポーツでも、「ウォーキング・散歩・ジョギング」(55.4%)が最も多かった。

3 スポーツへの関心・満足度は「関心がない」が最多

- ・スポーツへの関心・満足度は、「関心がない」(59.5%)が最も多く、次いで、「満足している」(22.2%)、「もっと行いたい」(16.7%)の順であった。

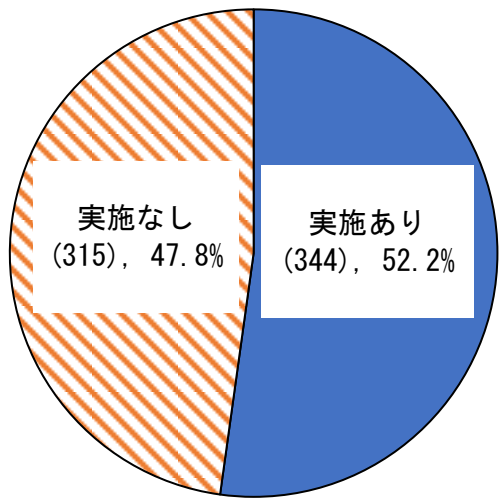
4 スポーツ実施の障壁は「体力がない」、必要な支援は「会場までの送迎」が最多

- ・スポーツ実施の障壁は、「体力がない」(30.5%)が最も多く、次いで「障壁はなく十分活動できている」(26.6%)、「金銭的な余裕がない、お金がかかる」(14.7%)の順であった。
- ・スポーツを行うために必要な支援は、「会場までの送迎」(39.3%)が最も多く、次いで、「施設のバリアフリー化」(34.6%)、「公共交通のバリアフリー化」(24.7%)の順であった。

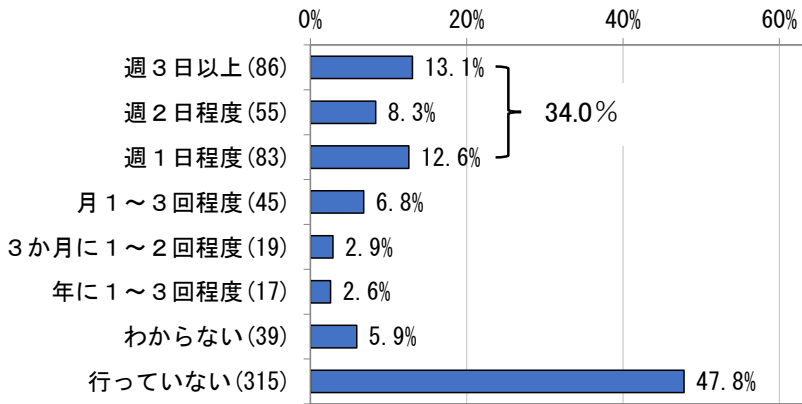
3. スポーツの実施状況(総括)

- 過去1年間にスポーツを「実施した」は52.2%、「実施していない」は47.8%であった。
- スポーツの実施頻度は、「週3日以上」(13.1%)が最も多く、次いで、「週1日」(12.6%)、「週2日」(8.3%)の順であった。
- スポーツ実施率(週1日以上スポーツを実施した人の割合)は、34.0%であった。

図表1 過去1年間の運動
スポーツの実施の有無(n=659)



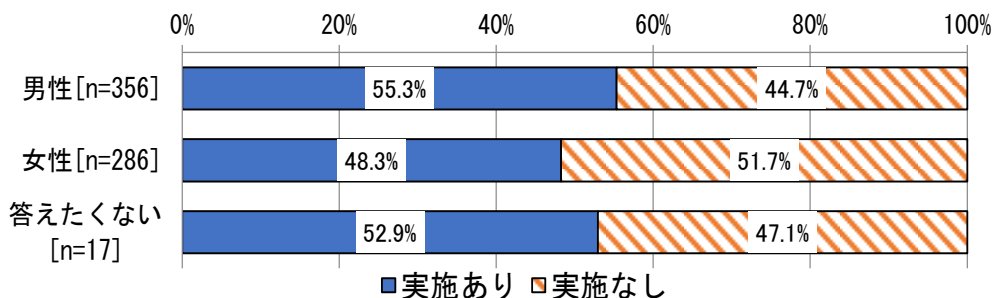
図表2
運動・スポーツの実施頻度(n=659)



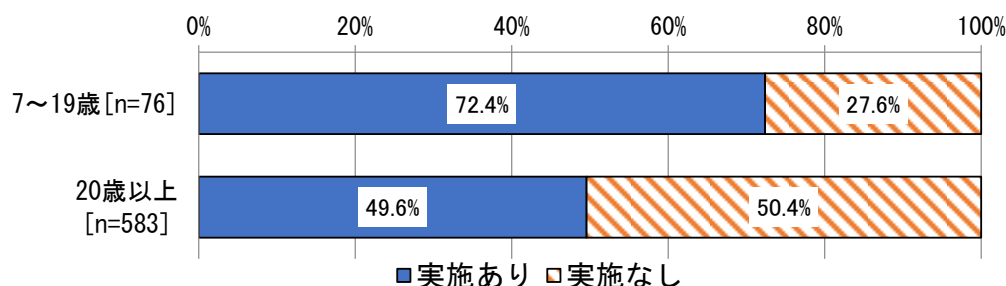
4. スポーツの実施状況(性別・年代別)

- 過去1年間にスポーツを実施したのは、男性が55.3%、女性が48.3%であった。
年代別にみると、19歳以下が72.4%、20歳以上は49.6%であった。
- スポーツ実施率は、男性が37.9%、女性が30.4%で、年代別にみると、19歳以下が48.7%、20歳以上が32.1%であった。

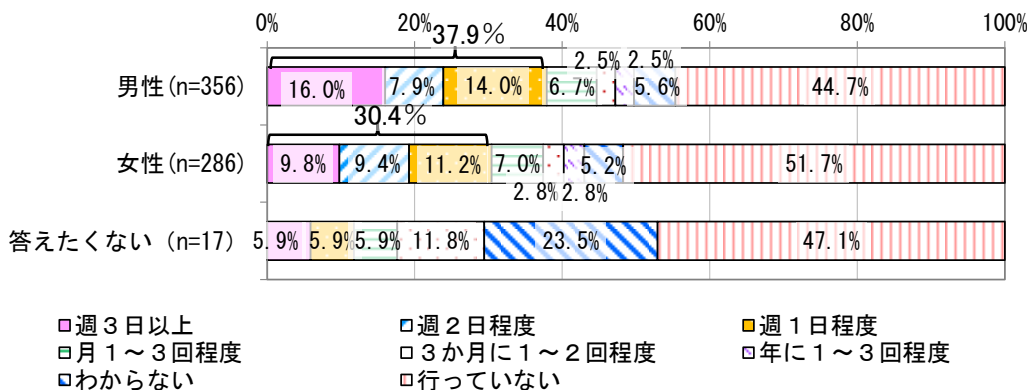
図表3 過去1年間の運動スポーツの実施の有無(性別)



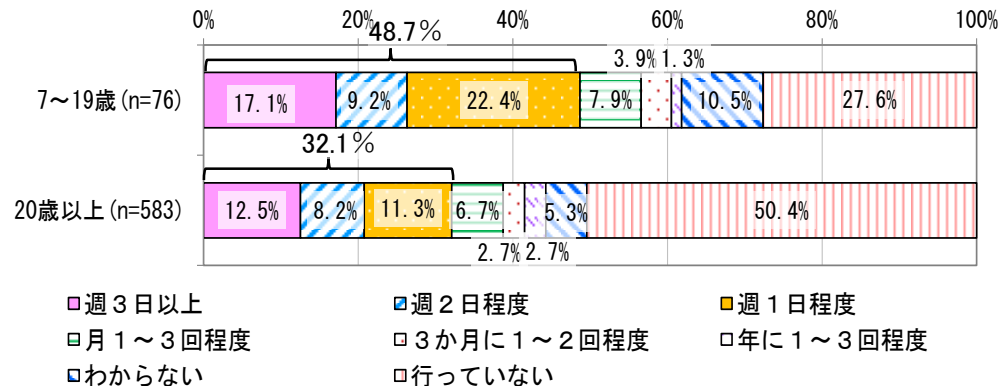
図表4 過去1年間の運動スポーツの実施の有無(年代別)



図表5 過去1年間の運動スポーツの実施頻度(性別)



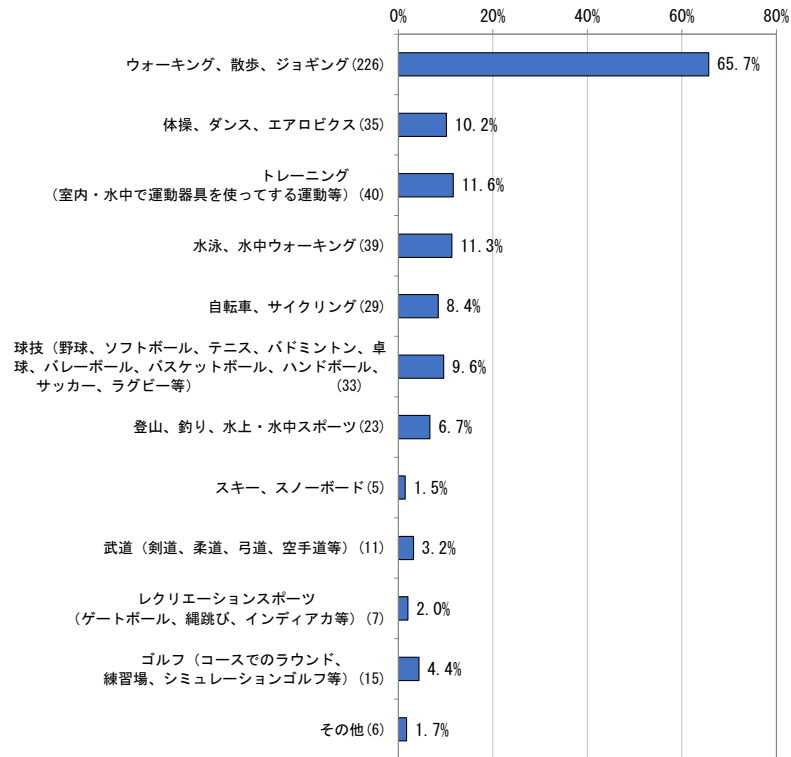
図表6 過去1年間の運動スポーツの実施頻度(年代別)



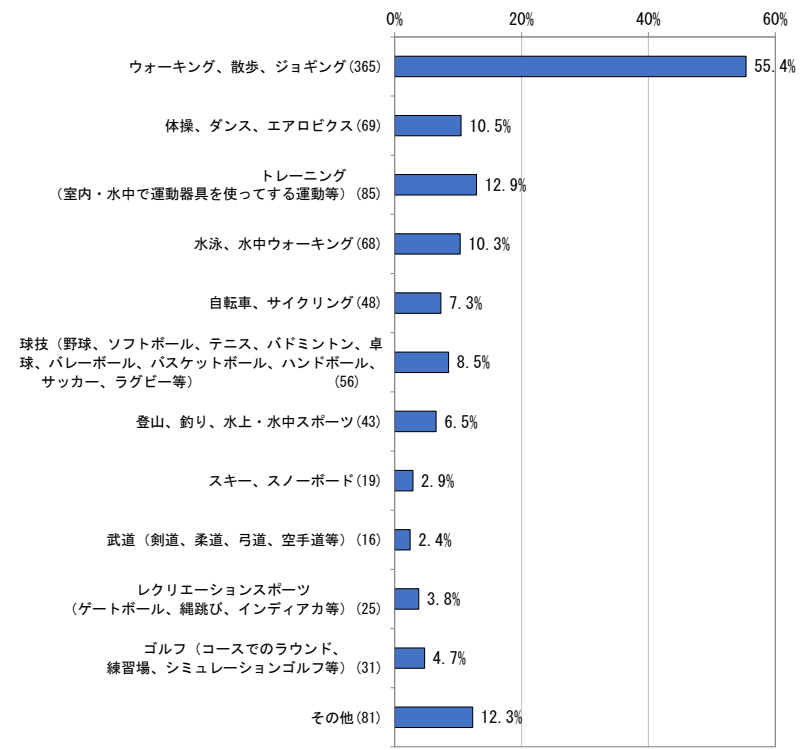
5. 実施したスポーツ／今後行いたいスポーツ

- 実施したスポーツは、「ウォーキング、散歩、ジョギング」(65.7%)が最も多く、次いで、「トレーニング」(11.6%)、「水泳・水中ウォーキング」(11.3%)の順であった。
- また、今後行いたいスポーツも、「ウォーキング、散歩、ジョギング」(55.4%)が最も多く、次いで、「トレーニング」(12.9%)、「体操、ダンス、エアロビクス」(10.5%)の順であった。

図表7 実施した運動・スポーツの種類(全体)(n=344)



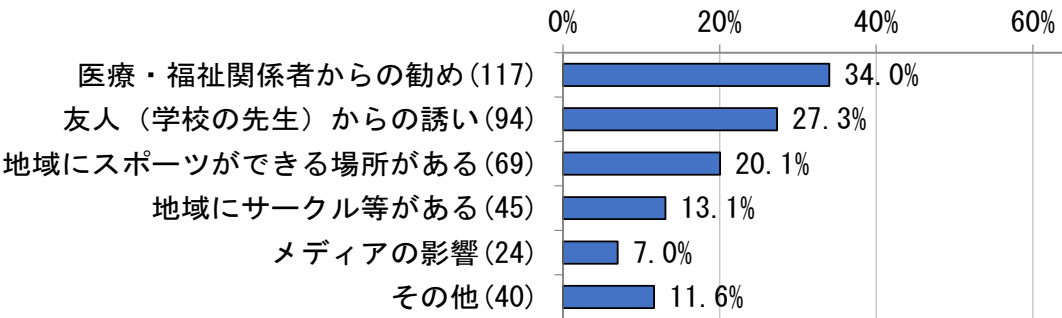
図表8 今後行いたい運動・スポーツ(n=659)



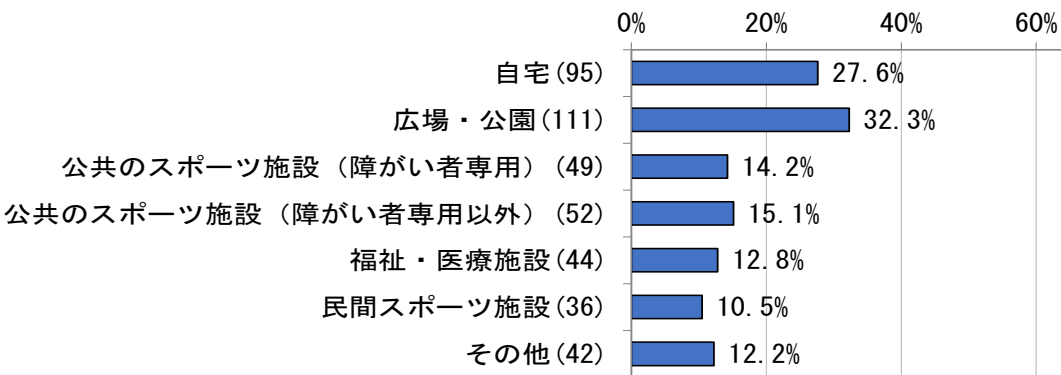
6. スポーツを始めたきっかけ／スポーツを実施した場所

- スポーツを始めたきっかけは、「医療・福祉関係者からの勧め」(34.0%)が最も多く、次いで、「友人(学校の先生)からの誘い」(27.3%)の順であった。
- スポーツを実施した場所は、「広場・公園」(32.3%)が最も多く、次いで、「自宅」(27.6%)、「公共のスポーツ施設(障がい者専用以外)」(15.1%)の順であった。

図表9 運動・スポーツ実施のきっかけ(n=344)



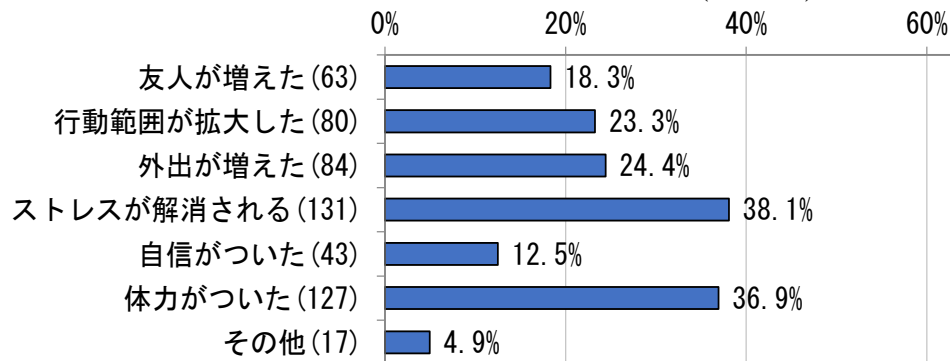
図表10 運動・スポーツを実施した場所(n=344)



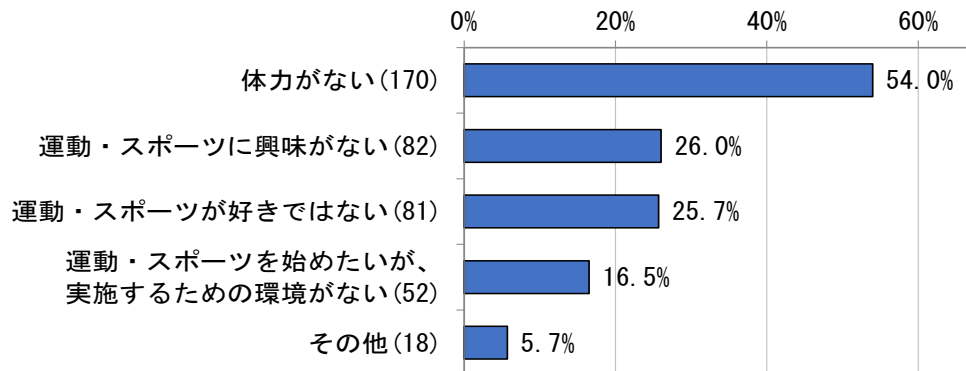
7. スポーツをしてよかったこと／スポーツをしない理由

- スポーツをしてよかったことは、「ストレスが解消される」(38.1%)が最も多く、次いで、「体力がついた」(36.9%)、「外出が増えた」(24.4%)の順であった。
- 一方、スポーツをしなかった理由は、「体力がない」(54.0%)が最も多く、次いで、「興味がない」(26.0%)、「好きではない」(25.7%)の順であった。

図表11 運動・スポーツをしてよかったこと(n=344)



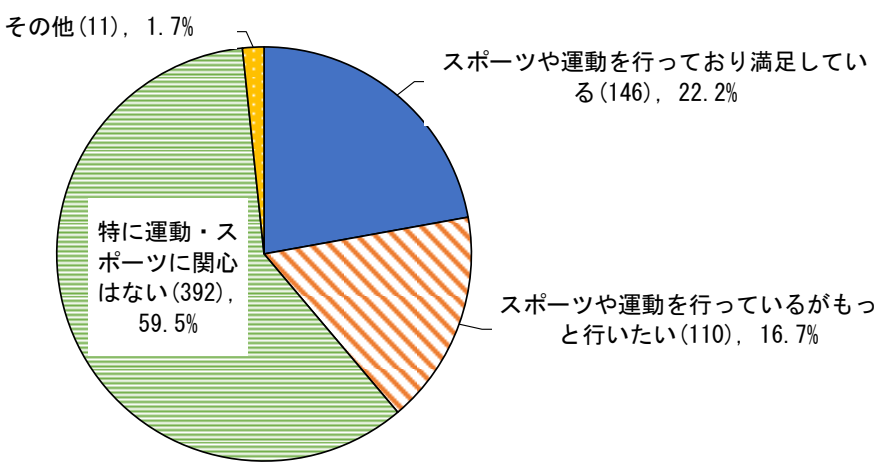
図表12 運動・スポーツを実施しない理由(n=315)



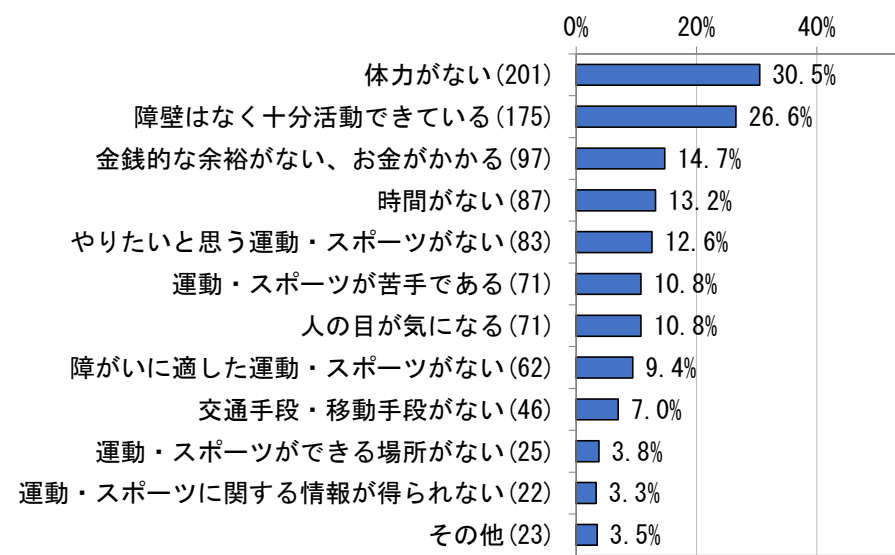
8. スポーツへの関心・満足度／スポーツ実施の障壁

- スポーツへの関心・満足度は、「関心はない」(59.5%)が最も多く、次いで、「満足している」(22.2%)、「もっと行いたい」(16.7%)の順であった。
- スポーツ実施の障壁は、「体力がない」(30.5%)が最も多く、次いで、「障壁はなく十分活動できている」(26.6%)、「金銭的な余裕がない、お金がかかる」(14.7%)の順であった。

図表13 運動・スポーツへの関心・満足度(n=659)



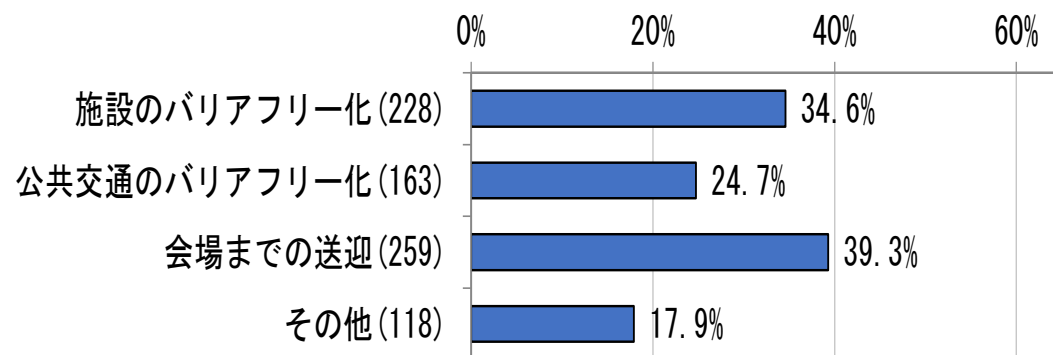
図表14 運動・スポーツ実施における障壁 (n=659)



9. 必要な支援

- スポーツを行うために必要な支援は、「会場までの送迎」(39.3%)が最も多く、次いで、「施設のバリアフリー化」(34.6%)、「公共交通のバリアフリー化」(24.7%)の順であった。

図表15 運動・スポーツを行うために必要な支援(n=659 複数回答)



10. その他の主な調査結果

・スポーツの実施目的

「健康・体力づくり」(65.1%)、「楽しみや気晴らしのため」(38.1%)、「リハビリテーションの一環」(24.7%)の順

・スポーツを行う場所への移動手段

「自力で徒歩・自転車で移動」(40.7%)、「自力で自家用車で移動」(28.8%)「家族・友人等の送迎」(22.4%)の順

・スポーツを一緒にする仲間

「いない」(79.7%)、「いる」(20.3%)

・スポーツを開始するための環境

※スポーツをしない理由に「スポーツを始めたいが、するための環境がない」と回答した方に質問

「身近なところでスポーツができる場所」(55.8%)、「加入できる団体やスポーツクラブ」(51.9%)の順

・スポーツサークル等の加入状況及び未加入理由

加入状況 :「加入していない」(97.4%)、「加入している」(2.6 %)

未加入理由:「近くにない」(42.7%)、「興味がない」(24.8%)、「加入したいと思うサークル等がない」(17.9%)の順

・新型コロナウイルス感染症の影響

「影響・変化はなかった」(62.8%)、「外出を控えスポーツの機会が減った」(23.1%)、「自宅等でスポーツをする機会が増えた」(13.4%)の順

・スポーツ情報の入手方法

「家族や友人」(35.4%)、「PC・スマートフォン等」(25.5%)、「テレビやラジオ」(19.3%)の順